



今できること
プロジェクト
2024-2025
学び直しと伝承

中学生に
託す伝承の
バトン

震災伝承新聞被災地取材レポート③

仙台市立三条中 ▶ 松島町

中学生記者が復興の現場へ



丸文松島汽船の語り部クルーズに参加

昨年度制作した
震災伝承新聞



自分の目で見て、伝え、備える。

東日本大震災の記憶と教訓を将来に託す中学生たちが、宮城県内の被災地取材し、その成果を「震災伝承新聞」として2025年2月に発行。宮城県内外の中学校や災害伝承施設へ8万部を配布します。今年度で5回目を数えるこの取り組み。今回も仙台市内の3校が参加し、取材のノウハウを説明するオリエンテーションを実施後、三条中の8人が松島町を訪問しました。



体感した学びを同世代に伝えるために

9月21日、仙台市立三条中の8人は、宮城の沿岸自治体では例外的に壊滅的な被害を免れた松島町取材しました。三十州駐車場で松島高校観光科の高校生と合流。県内きっての観光地である地元の要望で2014年に新設された観光科2年の4人が、訓練実習で観光客を津波避難誘導するルートを下りながら国宝瑞巖寺まで案内しました。観光科では、地域に貢献できる人材育成に向けた実習やボランティア活動に力を入れています。

震災前、瑞巖寺の参道周辺は樹齢400年の杉木立1000本に覆われていましたが、参道入口の総門から150m付近まで到達した津波と地盤沈下で、半数近くが枯死。発災当時、全国から1200人の観光客が松島を訪れており、全員が瑞巖寺の境内などに避難誘導されて事なきを得ています。一行は参道の傍らにある津波到達点の標識を確認した後、松島防災センターで松島観光



松島高校観光科の生徒が瑞巖寺参道の津波到達地点を説明

協会の志賀寧会長の講話を聞きました。

救急救命士の1期生である志賀さんは発災当時、塩釜地区消防事務組合の本部長兼危機管理監を務めていました。周辺が冠水した消防本部に避難した住民20人以上を受け入れ、長野・兵庫・岡山などから駆け付けた緊急消防援助隊の応援のもとで要救護者の救出や

不明者の捜索、多賀城の石油コンビナート火災の消火活動などの陣頭指揮を執った経験を振り返りました。

午後は松島湾内を一周する丸文松島汽船に乗船し、「語り部クルーズ」を体験取材しました。津波の勢いを減退させる消波ブロックの役割を果たし、一人も犠牲を出さなかった桂島など浦戸諸島の海域まで移動。後半は東松島市の自宅と両親を津波で失った横山さんの震災体験に耳を傾けました。あの日の朝、両親と口げんかをしたまま仕事に向かい、謝ることが永遠にできなくなったことを後悔していると話す横山さん。大切な人の存



松島観光協会の志賀寧会長による講話

在は当たり前ではないことを胸に刻み、家族への感謝を忘れず毎日をご過ごしてくださいね、と中学生記者に語りかけました。



ご自身の被災体験を語る横山純子さん

現在、中学生記者たちが取材を振り返りながら、2月発行予定の特集紙面の制作に奮闘中です！

私たち賛同企業も、再生と伝承のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトに賛同し、推進していきます。

IHI / アサヒビール 東北支社 / 石巻市震災遺構門脇小学校・大川小学校 / NTTデータ東北 / 花王 / キリンビール 東北統括本部 / ケーズデンキグループ・デンコードー / 劇団四季 / 光輝ビルテクノス / 神戸製鋼所東北支店 / サッポロビール / サントリー 東北営業本部 / JFEスチール仙台製造所 / JTB 仙台支店 / 住友不動産 東北事業所 / 生命保険協会 宮城県協会 / 仙台環境開発 / DICグラフィックス / 伝承千年の宿 佐勘 / 東亜道路工業東北支社 / 中伸環境 / 日本製紙 / 日本製紙クレシア / 日本損害保険協会 / 日本郵便 東北支社 / 野村不動産 仙台支店 / 東日本油化工業 / 平松剛法律事務所 / 藤崎 / 富士フィルムグラフィックソリューションズ / みちのく企業グループ / 三井住友海上 / 三井不動産 / 三菱地所グループ / 三菱重工機械システム / 宮城県建設業協会 / 宮城県自動車整備振興会 / 宮城交通みやぎ生協 / 明治安田生命 仙台支社 / リコージャパン 宮城支社 / 河北新報社 (順不同)

◎後援 / 宮城県、仙台市、石巻市、松島町、南三陸町、山元町、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

これまでの活動内容や新着情報は「今できることプロジェクト」特設HPをご覧ください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/

河北 今できること

検索



facebookページもあります。

企画・制作



営業局(今できることプロジェクト事務局)

【お問い合わせ】

今できることプロジェクト事務局(河北新報社営業部)

tel 022-211-1318